

# 「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		市民文化祭事業費 [ 東大和市民文化祭 ]									
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費	事業番号	6
事業の種別		<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)									
担当部署・課長名		社会教育 課 生涯学習 係					課長名		高田 匡章		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 4		
【施策名】 市民文化の振興								総合計画書(ページ)	41		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	東大和市民 →				人口数(令和2年4月1日現在)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
市民文化の普及と向上を図り、市民相互の交流を促進したい。 →				出展者、出演者、参加者及び観客数							
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
市・教育委員会・文化協会の共催により、市民文化祭を実施し、中央公民館・ハミングホール・奈良橋市民センター等を使用して、参加団体が展示・発表を行う。実施に当たっては、参加団体から選出された委員で構成された実行委員会を設置し、実施方法や広報等について検討を行う。 →				①実行委員会の会議数 ②市民文化祭の実施日数							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,698	85,337	85,266					
	成果指標	②の数値	人	12,497	10,731	0					
	目 標	②の目標値	人	11,202	12,497	10,731					
目標値設定の考え方 前年度の数(数値)を超えることを目標とする。											
活動指標	③の数値	①回 ②日	①4 ②22	①4 ②23	①3 ②0(中止)						
3 経費	事業費(実績)		円	2,249,013	2,204,230	412,440	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	1,131,013	1,102,230	206,440					
		特定財源(国・都・他)	円	1,118,000	1,102,000	206,000					
	(うち受益者負担)		円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.15	0.15					
		所要人数(再任用)	人		0.30	0.15					
	職員人件費(再任用以外)		円	4,122,000	1,246,500	1,257,000					
職員人件費(再任用)		円		1,175,100	594,000						
事業費+人件費		円	6,371,013	4,625,830	2,263,440						
4 環境変化等	(1) 開始年度		S46 年度								
	(2) 環境の変化		昭和46年11月に第1回市民文化祭を開催。当初は学校体育館にて3日間の開催であったが、参加者の増加とともに規模を拡大。中央公民館をメイン会場として日数を増やして実施するようになり、平成13年以降はステージ団体の一部がハミングホールも使用するようになった。 令和2年度に開催予定であった第50回市民文化祭については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け中止となった。今後の開催については、感染症の状況を見つつ、感染防止対策を講じた開催方法を検討する必要がある。								

事業名称	市民文化祭事業費 [ 東大和市民文化祭 ]			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 高田 匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、市民文化祭の開催可否については様々な意見が寄せられた。令和2年度は、第50回目の開催及び市制50周年という節目の年でもあったため、コロナ禍でも開催を求める声があったが、会場での感染拡大を懸念する観点から、参加を辞退する団体も多く、結果、年度の途中で中止を決定した。
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない         取組手法：①文化協会、②市民文化祭実行委員会、⑤実行委員会へ負担金の交付 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 市民文化祭をアピールするため、ポスター掲示以外の取り組みを検討する必要がある。 アピール案 ①作成済みののぼりを立てる ②中央公民館の2階ガラス窓に大ポスターを掲示する ③中央公民館で館内放送を行う ④文化祭において表彰された人を市報(市民情報等)に掲載する。 ⑤補助金については、増額を求める声の一部があるが、公平性の観点から大幅な変更はできないことについて理解を得る。 ⑥会場設営委託料に展示パネル数を増やすことを検討する(来年度予算計上時)
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 ①②③④中止のため実施せず。 ⑤実行委員会に対し説明済み。 ⑥パネル増で予算計上したが、中止のため委託発注せず。
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ①市民文化祭のPR方法について、令和3年度も引き続き検討し、実施する。(例：LINE、Youtube等の活用も検討する。) ②新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を検討し、安全に参加できる文化祭を実施する。 ③文化祭事業費全体の予算減の中でも、参加団体が十分に展示・発表できるような方法を考える。
8	施策貢献状況(この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名：市民文化の振興 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名( )
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 感染防止対策を講じて、出展者・出演者及び観覧者が安全に鑑賞できる文化祭を実施する。
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 施設の利用制限を順守し、内閣府のガイドライン等を参考にしながら、感染防止対策を検討する。